

==



==

== 全中連NET通信

==

∞∞∞ 2024.7.5 ∞∞

==

全国中小企業団体連合会（全中連）

==

〒102-0093

==

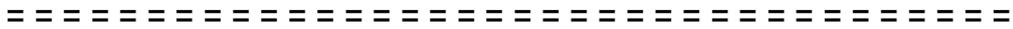
東京都千代田区平河町 1-5-3 大和屋第 2 ビル

==

TEL : 03-3262-2001 FAX : 03-3262-2054

==

e-mail : zen01@yacht.ocn.ne.jp



《目 次》

ブロック代表者会議開催される
 吉田忠智会長をはじめ全役員が再任 2

吉田忠智会長の再任にあたってのご挨拶 3

最近の主な動き 4

今後の主な日程 4

ブロック代表者会議開催される

今年度の活動方針・予算などを承認

吉田忠智会長をはじめ全役員が再任

今年の中研集会は東京で開催

従来の全中連総会に代わる会議であるブロック代表者会議が6月28日に Zoom にて開催され、諸活動に関する協議と決定及び役員を選出がおこなわれ、役員は全員が再選されました。

報告事項として、ブロックでの活動などについての報告などがありました。

諸活動に関する審議にはいり、昨年度の活動報告と決算報告・会計監査報告について協議の結果、一括承認されました。

続いて活動方針案について審議され、今年の中研集会については、全国から集まることのできる唯一の機会であるため、東京以外での開催は、現状では地方の受入れ体制が十分でないことや、財政的な負担の問題などから、今年も中研集会は従来通り11月に東京で開催することとなりました。また中研集会のやり方で、以前おこなってきた分科会のような各地域や各参加者の個別の経験交流を行うような場を復活させてはどうかとの意見も出されました。また、テーマについては、各ブロックから要望を上げてもらい、それをもとにテーマを決定していくことになりました。こうした協議を経て活動方針と予算が承認されました。

〔第38回中小企業問題研究集会〕

- ・開催日時 11月7日（木）13時～11月8日（金）12時
- ・開催地 アートホテル日暮里 ラングウッド（昨年と同じ）

また、政策要望については、最近問題になっている大手企業による下請けいじめへの対策強化、より実効性のあるカスタマーハラスメント（カスハラ）対策を後押しするための法整備の推進、マイナ保険証の12月全面移行に反対することなどについて意見が交わされ、要望書をまとめていくことになりました。

活動報告、決算報告、会計監査報告、活動方針、予算、及び政策要望（案）につきましては各単協に資料を送付いたしますので、そちらをご覧ください。

全中連会長再任にあたってのご挨拶



このたびの役員改選で引き続き会長を務めることとなりました。ともにご承認いただいた役員の方々とともに、これからも与えられた責任を果たしていきたいと思います。昨年4月の急な参議院補欠選挙出馬によりまして、私も国会の現場を離れることとなりまして、役員や事務局の皆様、また逢坂議員団会長をはじめ、国会議員団の皆様にもご負担をおかけしながら、この間会長として活動して参りました。

来年の7月の参議院通常選挙で大分選挙区で闘うこととなりましたので、まずは当選して、国会に議席を与えていただき、そして議員として皆様方のお役に立てるよう活動していきたいと思います。これからだんだん候補者としての活動も入ってくると思いますし、既に立憲民主党の大分県連の代表も務めておりますので、当面衆議院選挙が先にある可能性が強いですから、衆議院選挙に全力を挙げ、そして私の選挙に繋げていくということになろうと思っております。

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、このようにオンラインでの会議で運営ができるようになりましたので、経費の節減にもなっていると思っておりますが、対面の重要性もありますから、その辺はうまく組み合わせながら会の運営を進めていく必要があるのではないかと考えております。役員、事務局、議員団の皆様のご協力をいただきながら、引き続き向こう2年間、会長としてその任務を果たしていきたいと思いますので、まずはよろしく願いいたします。

政治状況でございますが、通常国会は6月23日に閉会となりました。今国会は「裏金に始まり裏金で終わった」というようなことになりました。ご存じの通り、政治資金規正法改正案で自民党案に公明党が賛成をして、衆議院段階では維新の会が賛成しましたが、参議院では反対ということで、与党のみの賛成で成立いたしました。真相解明が全く行われないうまま、中途半端なかたちで、一体自民党の反省はどこにあるのかと思われる内容でした。この国会はこれ以外にも経済安全保障の秘密法案とか、共同親権でありますとか、野党の間でも悩ましい法案もありました。また、少子化対策の財源として保険料に上乗せをするということで、実質負担はないようにすると言いながら負担があるわけです。

一方、6月から始まりました所得税減税、住民税減税の定額減税は事務負担を求めながら減税を行い、しかもその財源は赤字国債でまかなうという、大変ちぐはぐな経済政策が進められております。そして8月からは、電気とガスの補助金をまた復活をするという、事務的には7月には間に合わず、猛暑対策として8月からやるという、経済財政の司令塔である新藤大臣も知らないうちに官邸で決めたということで、岸田政権、自民党のガバナンスはどうなっているのか、疑問符を付けざるを得ない状況です。

亡くなられた青木幹夫元参議院議員が、「与党と政権の世論調査の支持率が50%を下回れば、もはや危険水域で政権としては立ち行かない」という話をしておりましたが、まさにそのような状況になってきております。岸田降ろしと思われる動きも自民党内から出てきておりますが、これは自民党の構造的問題ですから、岸田総理一人の問題ではないわけです。

そうしたなかで衆議院解散総選挙がいつあるのか、最速は9月の自民党総裁選挙の後の臨時国会ではないかと思いますが、場合によっては、たとえば岸田さんに代わって他の方が総裁になって、状況が厳しいから解散せずにズルズルと行くという可能性もあるのではないかと考えております。立憲民主党としては、国民民主党も社会民主党もそうだと思いますが、10月の臨時国会を召集して、解散、総選挙になるということ想定しながら、衆議院選挙の準備を加速していくことになるのではないかと考えています。

それから、円安がまた進んでおまして、中小企業の経営の圧迫の要因となっております。そして最低賃金審議会の議論も始まりまして、全国平均を1050円位でという話も出てきております。ただ、全体の賃金の底上げをするためには最低賃金の引き上げは重要でありますけど、これが中小企業の皆さんの経営にも影響してくるということで、どのへんで折り合いをつけるか、いずれにしても最低賃金が引き上げられて、中小企業で働く皆様の賃金引き上げにつなげていくためには、のちほど議論されます要望書の課題に沿って、中小企業の皆様の後押しを、しっかりとしていかなければならないと考えています。

全中連に課せられた役割は極めて大きいと考えています。全中連がその役割を果たせるように、これからも組織の拡大・充実にも取り組んでいきたいと考えています。全中連運動の一層の前進、充実、強化に向けて、全中連がその役割を果たせますように、皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げまして、役員改選により引き続き会長としての任につくにあたってのご挨拶とさせていただきます。

◎最近の主な動き

- 6月 27日 北海道商工連盟定期総会・同協同組合通常総会〔札幌〕
- 6月 28日 ブロック代表者会議〔Zoom〕

◎今後の主な日程

- 7月 12日 九中連定期総会〔熊本〕